



と性暴力の根絶を求める、
フラワー・デモ@かがわは
11日、高松市でプラカ-
ドや横断幕を掲げ、サイ-
レンツスタンディングデ

通りがかりの高校生2人がデモに飛び入り参加。「性暴力やフラワーデモに関してグループディスカッションなど授業で学

フランワードデモ



りがかりの高校生2デモに飛び入り参加。暴力やフラワー・デモしてグルーブディスジョンなど授業で学んだ。少しでも性暴力被害に悩む人の助けになりたい」とのべました。

年金者組合が宣伝行動

本年金者組合香川は高松市で14日、年金支給口にパンフを配布し、全国各地と連帯した宣伝行動を行いました。参加者は、年金額は29カ月連続で上昇をする物価上昇に見合わず、12年間で実質7・8%も減少していると指摘。「自民党政治の政策で、消費税増税や社会保険料の上昇し、マクロ経済ストライドに伴い年金が増減す



A black and white photograph of a protest in Japan. On the left, a man in a traditional kimono stands holding a microphone and a sign that reads "年金の大迷惑阻止" (Prevent the big nuisance of pensions). To his right, another person holds a large banner with Japanese text. The background shows city buildings and a street sign.

他の参加者からは「性暴力は加害者の加害意識が高い出しひらいで表面化していく。日本の性暴力の根本には、男性優位で良妻賢母や男尊女卑など性別役割分業の意識や仕組みがある。個人として尊重される経済・社会シ

システムなど自立できる環境や、自立心があれば、性暴力やDVから逃れを選択肢が生まれる。性暴力に対し声を上げてよい、上げやすい環境づくりを目指している」との声を聞きました。次回のデモは7月11日17時半からです。

太鼓台異

蒸し暑い梅雨空。マイクを握って、走る車を相手に声をあげる。結構クラクションの反応がくる。

「戦争への道を止めよう」「農業を壊す政治にノー」遠く野良仕事のおじさん
が手を振っている。

ところどころの麦畑は色づいているが、刈ったまま棄て置かれたり、雑草と同居状態だつたり、丁寧な扱いを受けていないけれど、麦秋には違いない。この時期、用水路の流れは速い。田植え準備で水張りを終えた水田、そこそこにひろがっている。

今年はお米の人気が高まっているという、我が家では二合炊いて、三日かかるても食べれないこともある。卵かけで朝一膳。昼はパンだつたり、うどん類で軽くすませたり、夜は主食をいただくことはまずないから、炊飯器は保温のままで過ぎていくという案配だ、用事で外出すると「おにぎり」を仕入れて会議の前に急ぎ食べたりする。お米はすっと口を通り過ぎてくれるから便利だ。午後の長い時間、腹持ちのいい、お米さまざまだ。

原水爆禁止！国民平和大行進
香川県内を行進中 ~6／30



とめ」は、このことから田
をそむけ、わずかなお金で、
糊塗しようとするもので、
逆効果しかもたらさないも
のです。

【3面から】教職員を抜本的に増員し、長時間過密労働を解消して学校現場にゆとりを取り戻さない限り、「教職員不足」は解消しません。中教審の「審議のま



昭和21年（1946）12月
21日、早朝4時20分、九州・
四国・中国・近畿にわたり大
被害を与えた地震。

閑期を利用して春までに平賀地区の農家総動員でおこなつた。作業は池水配（スイハイ）が総指揮をとり、機械力を使わず、すべて音頭の歌に合わせての人力作業であった。

の後の10日間で258回
四国に全壊9070戸、死者
1330人を出す。香川県下
の被害は全壊608戸、半壊
2409戸、罹災世帯669
9戸、死者52人、負傷者2
73人など。また、県下各地
で河川やため池の堤防が決壊
した。

南海地震によつて香西町も
大きな被害を受けた。香西浜
(愛染塩田) をはじめ県内の
塩田は、亀裂や沈下が生じる
など甚大な被害が出た。本津
川東堤が決壊した。地盤沈下
によつて新開地区(港町) の
井戸は塩水が混入し使用不能
となつた。今池の堤防には亀
裂が生じ、貯水不能となつた。
今池補修のための池普請は

※ 南海地震によつて発生した地盤沈下によつて、県内沿岸部の広い範囲で井戸水に海水が侵入し、飲料水として使用不能になつた。

※ 南海地震は四国沖から紀伊半島沖にかけて起くる巨大地震の総称でもある。最近では宝永4年(1707)の宝永震、安政元年(1851)の南海地震である。

昭和21年（1946）の安政南海地震
昭和南海地震と、ほぼ年周期で発生している。

郷土史辞典「笠居郷探訪」（二部抜粹）
（なんかいじしん）

著者 立山 信浩

昭和21年（1946）の昭和南海地震と、ほぼ百周期で発生している。